

FKS(RC2.0, FN2.0)で自動バックアップの手順

サーバーのバックアップを行います。

- 1) FKS_バックアップフォルダから、Create_FKS_Backup.exeをダブルクリックして起動します。
設定を選択して、[出力]ボタンをクリックします。
(FKS_バックアップフォルダは、インストーラー内のSERVER_TOOLフォルダ内に格納されています)

バックアップ設定バッチ出力

バックアップ先フォルダ
C:¥backup¥ 参照

バックアップ実行

<input checked="" type="checkbox"/> 月曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 金曜日
<input checked="" type="checkbox"/> 火曜日	<input type="checkbox"/> 土曜日
<input checked="" type="checkbox"/> 水曜日	<input type="checkbox"/> 日曜日
<input checked="" type="checkbox"/> 木曜日	

バックアップ開始時刻 02:00

曜日別にバックアップフォルダを分ける

出力 閉じる

バックアップ先フォルダ バックアップファイルを出力するフォルダを選択します。
バックアップ実行曜日 バックアップを行いたい曜日を選択します。
バックアップ開始時刻 バックアップを開始したい時刻を選択します。
曜日別選択 曜日別にバックアップフォルダを分けたい場合はチェックを付けます。

- 2) 出力ボタンを押下し、バッチファイルを出力したいフォルダを選択します。

バックアップ設定バッチ出力

バックアップ先フォルダ
C:¥backup¥ 参照

バックアップ実行

<input checked="" type="checkbox"/> 月曜日	<input checked="" type="checkbox"/> 金曜日
<input checked="" type="checkbox"/> 火曜日	<input type="checkbox"/> 土曜日
<input checked="" type="checkbox"/> 水曜日	<input type="checkbox"/> 日曜日
<input checked="" type="checkbox"/> 木曜日	

バックアップ開始時刻 02:00

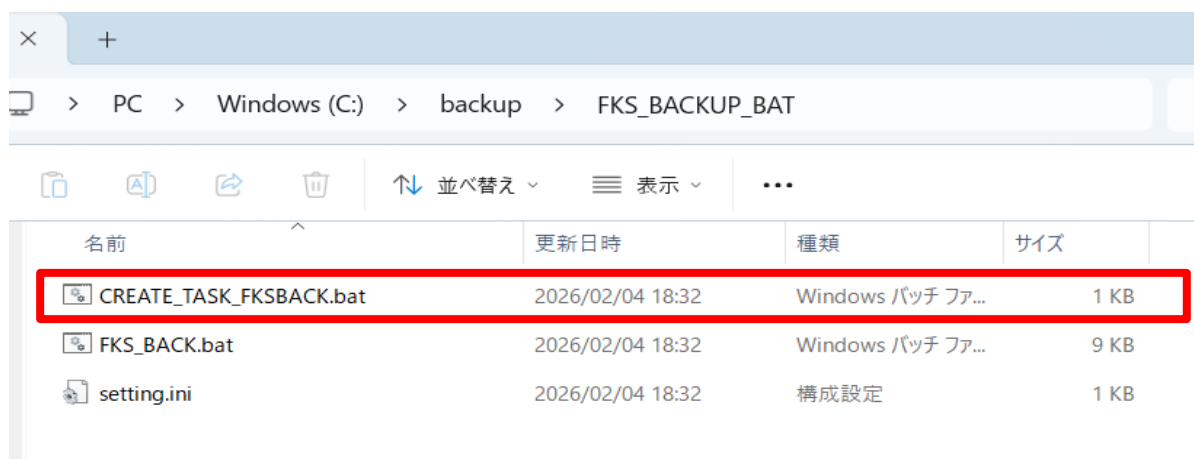
曜日別にバックアップフォルダを分ける

出力 閉じる

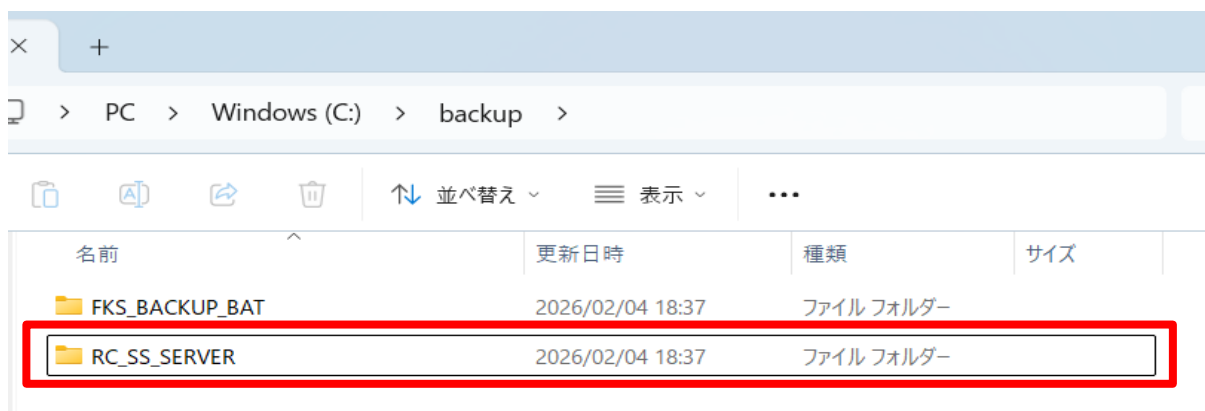
任意のバッチファイルの出力先を選択し、フォルダーの選択ボタンを押下



3) 2)で選択したフォルダにバッチが出力されます。CREATE_TASK_FKS_BACK.batをダブルクリックして、タスクスケジューラにバックアップを作成するバッチを登録します。



4) 1)で指定したバックアップ先フォルダにバックアップが作成されます。



5) 復元する場合は、以下の手順で実施します。

※システム上に同名の物件が存在している場合には復元ができませんので、名称を変更するか、削除した状態で以下の操作を行ってください。

○RC2.0の場合

・物件データの復元手順

①バックアップされたフォルダの中に、RC_SS_SERVER¥R110_¥DATAフォルダが作成されます。
この中のデータから復元した物件データの .MDF .LDFファイルをコピーし、
実環境のFKS_SS_2_SERVER¥RC_SS_SERVER¥R110_¥TRASHフォルダへ貼り付けします。

②RCシステムを起動し、退避データ復元のメニューより復元を行ってください。

・伏図データの復元手順

①バックアップされたフォルダの中に、RC_SS_SERVER¥R110_¥CADフォルダが作成されます。
この中のデータから復元した伏図データのフォルダをコピーし、
実環境のFKS_SS_2_SERVER¥RC_SS_SERVER¥R110_¥CADフォルダへ貼り付けします。

○FN2.0の場合

・物件データの復元手順

①バックアップされたフォルダの中に、FN_SS_SERVER¥F100_¥DATAフォルダが作成されます。
この中のデータから復元した物件データの .MDF .LDFファイルをコピーし、
実環境のFKS_SS_2_SERVER¥FN_SS_SERVER¥F100_¥TRASHフォルダへ貼り付けします。

②FNシステムを起動し、退避データ復元のメニューより復元を行ってください。

・ショットデータの復元手順

①バックアップされたフォルダの中に、FN_SS_SERVER¥F100_¥FNSHOTフォルダが作成されます。
この中のデータから復元したショットデータのフォルダをコピーし、
実環境のFKS_SS_2_SERVER¥FN_SS_SERVER¥F100_¥FNSHOTフォルダへ貼り付けします。

以上で終了です。

上記手順にて解決できない場合には、弊社窓口までお問合せ下さい。